

新型コロナウイルス感染症に関連して、新しい動きがありましたのでお知らせします。皆さんご承知のように、年末から年始にかけて伊賀市では新規感染者発表がなく、平穏な時期がありました。しかし、最近になり新規感染者の報告が続くようになっていきます。

県内の状況を見てみますと、11月上旬から年明け早々まで小康状態が続き、新規発表事例がない日も多くありました。しかし、1月5日以降は新規感染者が相次ぎ、12日には111例が報告されるなど、感染者は爆発的な増加を見せています。これは、全国的にも同様の傾向となっています。

市内では、昨年8月に280例に迫る感染者が報告され、その際には大変危機的な状況であることをお伝えしました。その後、感染者数は減少に転じ、11月6日から1月6日まで新規感染者の発生がないという状況でした。皆さんの感染防止対策の努力が実を結んだ形であったわけですが、冒頭に申し上げました通り、1月7日以降、市内でも日に数名の感染者が報告され、また懸念されるような状況となってきています。

こうした中、三重県は1月12日に新型コロナウイルス「感染拡大阻止宣言」を出しました。その中で、県民の皆さんへ次のような注意喚起を行っています。

- 全国的に感染者が急増
- 県内でもオミクロン株の感染事例が発生
- さらに強い措置を行う状況とならないよう感染拡大を抑え込む必要
 - ・基本的な感染防止対策の徹底を
 - ・体調に少しでも異変があれば、外出を控え、早期に受診を
 - ・無症状でも感染の不安がある場合は、検査を受けて
 - ・県境を越える移動は生活の維持に必要な場合等を除き避けて
 - ・外出する場合は、混雑する時間・場所を避けて
 - ・「マスク会食」「黙食」の実践を
 - ・同一グループの同一テーブルでの会食はできるだけ4人以下で
 - ・「あんしん みえリア」認証店の利用を

飲食店などに関しては、伊賀市独自の「感染防止対策実施店」ステッカーも交付していますので、ぜひそのような認証店をご利用ください。

また、繰り返しになりますが、感染拡大を防ぐためには私たち自身が感染に気をつけるということが何よりも大切です。次の感染リスクが高まる5つの場面にご注意ください。

【場面1 飲酒を伴う懇親会等】

大声、回し飲み、箸の共用により感染リスクが高まります。

【場面2 大人数や長時間に及ぶ飲食】

大人数・長時間での飲食は、飛沫の感染リスクが高まります。

たとえ屋外であってもリスクがありますので避けてください。

【場面3 マスクなしでの会話】

飛沫感染リスクが高まります。車中でも気をつけてください。

【場面4 狭い空間での共同生活】

長時間、閉鎖空間が共有されることで感染リスクが高まります。

【場面5 居場所の切り替わり】

休憩時間などに休憩室や喫煙ルームに行くなど、

気の緩みや環境の変化が感染リスクになります。

こうした感染リスクの高い場面を避けていただき、マスク着用・手指消毒などの基本的な感染防止対策を一人ひとりが徹底することによって、感染拡大を防いでいかななくてはなりません。

皆さんにこのような状況を認識いただけるように、再度、伊賀上野城を黄色にライトアップいたします。しばらくこうした注意喚起を行わずにすんでいたことを考えると、非常に残念ではありますが、黄色い光に照らされた天守閣を見ることで、感染防止の意識を強くお持ちいただきたいと思います。

次に、新型コロナワクチンの追加接種についてお知らせします。

追加（3回目）接種の対象となるのは、伊賀市に住民票があり、2回目のワクチン接種終了後原則8カ月以上経過している18歳以上の人です。ただし、65歳以上の人は、2月以降、1カ月前倒しして7カ月经過で接種可能となります。

使用するワクチンは、ファイザー社または武田／モデルナ社製です。

ワクチン接種の流れとして、まず、追加（3回目）接種の対象者に順次接種券を送付します。今回は、いが☆グリオがデザインされた水色の封筒でお届けします。この接種券が届きましたら、同封のチラシに掲載されている医療機関に予約をしてください。

十分注意していても、新型コロナウイルス感染症にかかったかもしれない、発熱や咳など心配な症状が出たということもあるかもしれません。そういうときには、まずかかりつけ医など身近な医療機関に電話で相談してください。かかりつけ医がない場合、または夜間や休診日などには、受診・相談センターに相談をしていただき、案内された医療機関で受診いただくようお願いします。

【受診・相談センター（土日祝も対応）】

- ・午前9時～午後9時：伊賀保健所 電話 0595-24-8050
- ・午後9時～午前9時：三重県救急医療情報センター 電話 059-229-1199

しっかりと、みんなで注意をしながら、心を引き締めて乗り切っていきましょう。

2022（令和4）年1月12日

伊賀市長 岡本 栄